JACOTスキルアップセミナー2024　2024.11.9

身体性問題から見た体育における
コオーディネーション運動の理論

Co-ordination Training
by H.Araki

日本コオーディネーショントレーニング協会
(株)エム・アンド・ピーシー

荒木秀夫

“身体性問題”とは

20世紀後半・・・科学・学問における境界領域への関心が高まる

システム論，認知科学，情報論，サイバネティックス・・・

↓

人間科学，行動科学への波及

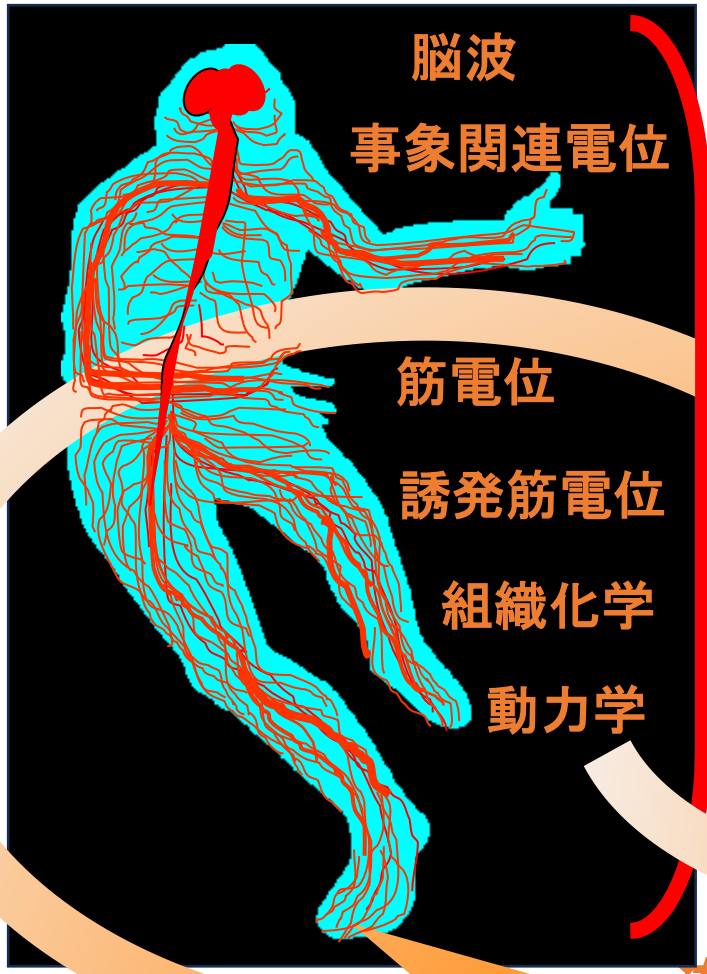
↓

“身体性”
Embodiment

脳，心，体を一体的に捉える“身心相関論”

“身体性問題”とは，人間の潜在的能力を
引き出すアプローチを問うこと。

“身体性”への“アート＆サイエンス”からの接近



身体性

“見立てる”アート

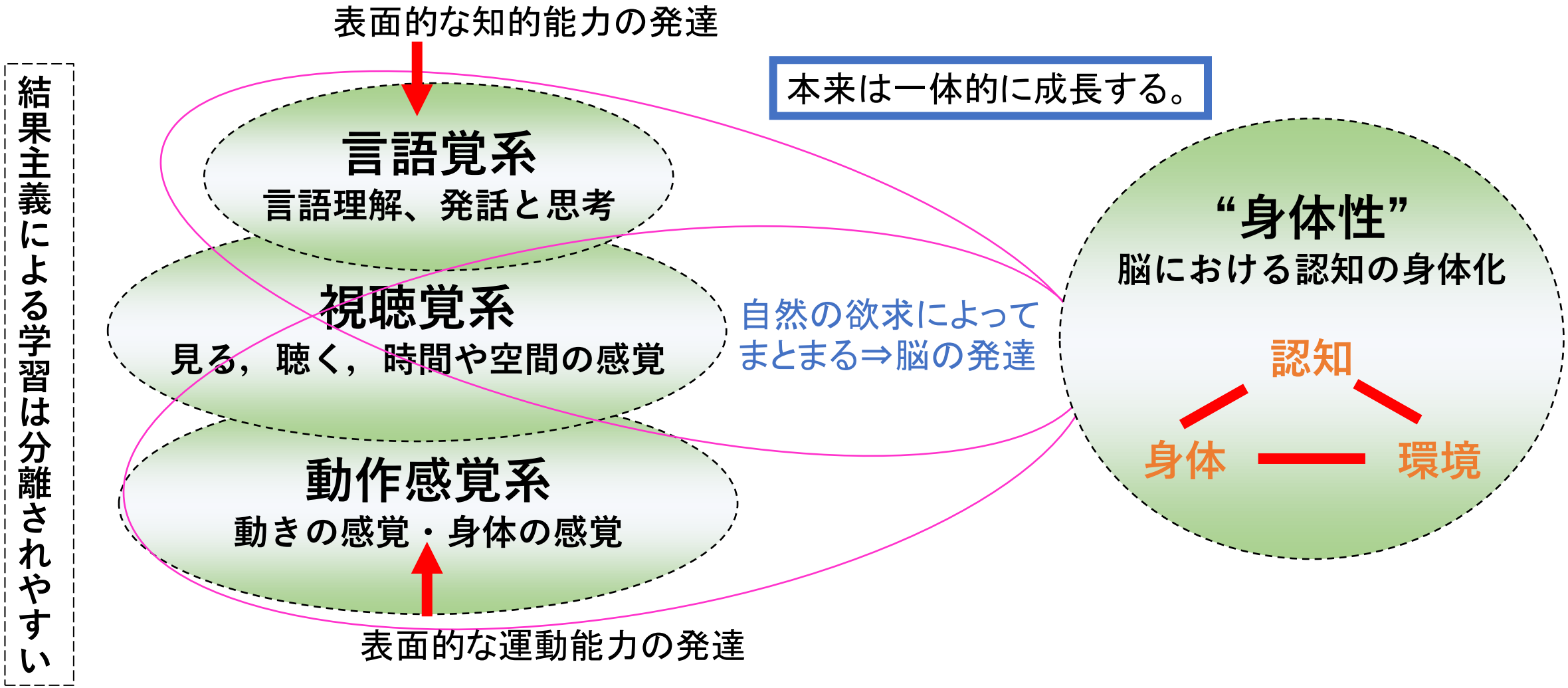
どのような身体活動を?

Co-ordination Training

“組み立てる”サイエンス

潜在的能力を高め，学習能力を引き出す
コオーディネーショントレーニング

“体育”を支える“認知階層性”と“身体性”



“体育”としての“教科内容”を支える柱

文化・社会性に満ちた身体へ
～　身体の社会性と社会脳は人間力の原点　～

競争と協同の混在により，ルール・規範を創造的に思考し，感受する集団的行動（球技・マスゲーム・組体操など）

自らの身体を意のままに
～　身体は最大かつ最高の道具　～

身体を意のままに操作する運動・動作に先行するイメージを前提とし，その実際の運動・動作において，イメージとの差を体感する運動・動作（体操・表現運動など）

身心へ環境を取り込む
～　「状況から」と「状況へ」は一つのもの　～

“言語の身体化”と“身体の言語化”を引き出す運動・動作課題に共通となる身体・運動能力としての“身体内環境”と“身体外部環境”を適合させる運動・動作（陸上・水泳・球技・格技など）